主体的、深く対話的な学びを！　2018年9月11日

９月の園だより

学校法人　鶴来学園
鶴来第二幼稚園

これまでに経験したことのないような酷暑，25年ぶりに非常に強い勢力で日本に上陸し大きな爪痕を残した台風21号，甚大な被害を出した北海道大地震など，変化が激しく未来の予測が困難な今の世の中を象徴するような夏でした。

今，世界には環境，貧困，人権，平和，開発など様々な問題が山積し，これまで誰も経験したことのない時代へと突入しています。子どもたちが大人になる20年後の未来はどのような時代となるのでしょうか？それがたとえどのような時代であっても社会の課題を自らの問題として捉え，多様な価値観を持つ人々と協力し，身近なところから取り組み，それらの課題の解決につながる新たな価値観や行動を生み出すことが求められる時代となることは間違いありません。

日本の教育は実に素晴らしいと思います。先進国の中でも，日本ほど平均的な基礎学力が高い国は少なく，また教育の場に掃除や給食の当番があるなど「自分のことは自分でする」教育，公共心を養う試みも素晴らしいと感じます。私自身，海外経験が長いのですが，世界中の人と接してみて日本人が優れていると感じることは「誠実で働き者」「利他的」であること。この精神こそ，次の世代が目指すべき社会だと言えます。

その一方でグローバル化，IT化が進む現代は，日本の中だけで生きていける時代ではなくなりました。アメリカのデューク大学の研究者キャシー・デビッドソンが2011年に「今年アメリカの小学校に入学した子どもたちの65％は，大学卒業時には今は存在していない職業に就くだろう」と言ったことは我々教育業界にとっても大きな衝撃でした。19世紀末から基本的な構成が変わっていない教育システムに大きな変革が迫られました。来るべき時代に必要な能力（21世紀型の能力）を備えるためには「教育」を変えていかなくてはならなくなりました。

持続可能な社会を創造する担い手を育む教育が今，世界的に求められています。では，持続可能な社会を創造していくことを目指す学習や活動とはどのような教育なのでしょうか？これまでの教育に「君ならどう考えますか？」「さまざまな考えの中から，君は何を選択しますか？」という視点，つまり子どもたちの「主体性」を大切にすることを，これまでの教育を否定するのでなく更に必要な要素としてバランス良く加えることが大切です。

日本では「教育」は「Education（エデュケィション）」と英訳されます。しかしこれらの言葉の持つ意味には根本的な違いがあります。日本語の「教育」は，「教え育てる」ことを意味し，教師の知識を子供たちに教える知育，上から下へ「教え諭す」という感じや意図的な働きかけを行うことによって，その人間を望ましい方向へ変化させることを意味します。一方「Education（エデュケィション）」は，語源的に探るとラテン語の「EDUCATUS」で，「E」は「外へ」を意味し「DUCERE」は「導く」なので，「能力を導き出す，引き出す」という意味になります。日本語の「教育」の持つニュアンスとはまったく違うとは思いませんか？

これからは学校（幼稚園）や教師の役割も変わります。勉強のできる子，運動の得意な子，みんなの空気を和ませる子，数学だけは飛び抜けている子，絵のうまい子など一人ひとりの子どもが本来持っている個性を伸ばす環境や，その子の持つ力を発揮する場を設定して，可能性を導き出すのに手を貸し評価する。そうすることによって初めてEDUCATE(可能性を引き出す)することとなります。

今後，幼稚園では，第一・第二それぞれがより特色を持った教育を実践していきますが，そのベースにある，未来を生きる子どもたちに必要な「生きる力」を育むことの出来るよう子どもたちの主体性を大切にし，子どもたちが自分が学んだことの価値を感じる（保護者の方も巻き込んで）オーセンティック（本物）な教育を提供出来るよう，教員一同取り組んでまいります。保護者の皆様の変わらぬご理解，ご協力を宜しくお願い致します。

幼稚園統括園長
中嶋　謙仁

９月の指導計画

幼稚園では各クラスの担任が下記の指導案に基づき，子どもたちの学びと育ちをサポートします。各ご家庭においても下記（今月のねらい）をご理解いただき「今日は幼稚園でどんなことをしたの？」などお子さまとコミュニケーションしたり，同様の視点でお子さまと接していただくことで，お子さまの成長を感じて頂ければと思います。

年長　経験したことを遊びに取り入れ，友達と遊び方を考えながら進める楽しみを味わう
　　身近な自然の変化に気づき興味や関心を広げ，深める

年中　興味を持ったことに取り組んだり，友達とかかわったりして好きな遊びを楽しむ
　　身近な秋の変化を感じたり遊びを取り入れたりする

年少　保育者や友達と一緒に体を動かして遊ぶ心地よさを味わう
　　身近な秋の自然にふれ，興味を持つ

2019年度新入園児募集のお知らせ

下記の日程で来年春に入園する園児を募集します。募集要項を配布しておりますので，ぜひ来年度入園の対象となるお子様がいらっしゃる保護者の皆様はご検討下さい。またご近所やお友達など，お知り合いの方でお子さんがいらっしゃる方にもぜひお声がけ頂けると幸いです。宜しくお願い致します。

募集開始　　2018年9月～
入園願書受付　2018年10月1日（月）8:00am～（以降，定員となるまで毎日8:00am～5:00pm）

バザーの再利用品

10月27日(土)の幼稚園バザーを控え準備に入っています。おたよりでもお伝えしましたが，再利用と手作り品のご提供について皆様にご協力をお願いさせて頂いております。9月27日(木)が締切日となっておりますので，まだの方は園までお願いします。再利用品等，ご家庭に品薄になっている現状かとも思いますが，子どもたちの設備充実のために，収益を大切に使わせていただいておりますので，是非ご協力の程よろしくお願いします。

早朝保育（預かり保育）とお迎えの時間，料金改定ついて

幼児期は幼稚園での教育環境だけではなく，家庭で親子で過ごす時間の中での数多くの愛情あふれる接触とコミュニケーションが，親への愛着（アタッチメント）を心に育みます。この愛着が育ってこそ，その子はこの世が自分にとって好ましい所だと感じる事が出来，周りの人への信頼が持てるようになり，自分自身への信頼（自己肯定感）が醸成されるのです。これは理屈ではなく，脳内のシナプスのネットワークが形成される段階（～6歳まで）に無意識のうちに刷り込まれてしまうものなのです。

幼稚園での教育時間は文部科学省の幼稚園教育要領で４時間と定められています。**7:30am～8:00amの間の早朝保育，および放課後の預かり保育は，共働きや介護などの理由の方が対象の制度**です。また，日課終了後の**お迎えは，事前に申請してある時間をお守り頂きいらして下さい。その他の時間帯は安全上施錠しております**ので，ご理解ご協力の程お願い致します。降園後や休みの日には，お子さんとの親子のスキンシップの時間を出来るだけ取るようにして，多くの愛情を注いであげて下さい。なお，来年度より本学園の延長保育ならびに預かり保育の料金が改訂されます。これまでは学園の経営努力により出来る限りご家庭の負担を抑えてまいりましたが，現行での時間や料金設定での保育の継続は難しく，この度，金沢周辺の幼稚園における料金設定なども参考にし，最小限度の変更をさせて頂きました。皆様のご理解を賜りますよう宜しくお願い致します。

送り迎えの際のドライブスルー禁止について

駐車場や玄関での園児の安全確保のため，幼稚園では玄関前で一旦停止のままお子さんだけで園舎に入る**ドライブスルーは禁止**しています。必ず一旦車を駐車し，お子さんと一緒に玄関まで入って送迎して頂くようお願い致します。